大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室では、高知県との協働により
「高知県における生活習慣病重症化の関連要因に関する研究」を実施しています。

【研究課題名】
高知県における生活習慣病重症化の関連要因に関する研究

【研究期間】
研究機関の長の実施許可日から 2030 年 3 月 31 日
（高知県との調整により、倫理審査委員会の承認のもと研究機関の長の許可の後、延長することがあります）
【研究の意義・目的・方法】
　高知県においては、全国と比較し 65 歳未満の死因別死亡割合において脳卒中、心疾患の割合が高く、特定健診結果においても、全国と比較し血糖値有所見（HbA1c5.6%以上）割合が高く、男女とも上昇傾向にあります。
　県民の健康寿命延伸、また既に重症化に至ったケースに対しては、身体機能の低下を最小限にとどめ、合併症を予防するために、本研究では、高血糖と他の循環器疾患リスク因子、関連する生活習慣との関連を明らかにすること、医療提供内容（Quality Indicator）と入院日数・医療費との関連を明らかにすること、各市町村における特定保健指導方法を把握し、翌年の健診結果や生活習慣病予防に対する行動変容との関係を明らかにすることを目的とします。
　そのための方法として、高知県で保有している各市町村国保の特定健診結果（2009 年度以降の個人の受診結果を紐づけたもの）や追加問診としての食習慣に関する食事調査、あるいは KDB 突合データによる健診、レセプトデータを使用して、横断的及び縦断的研究を行い
ます。
【研究結果の公表】
研究結果は高知県に還元するとともに、学会や学術雑誌で発表します。大阪大学のホームページや広報等に概要が掲載されることがあります。
【研究責任者】
大阪大学医学系研究科公衆衛生学 特任准教授 野口緑
【研究代表者】
大阪大学医学系研究科公衆衛生学 特任准教授 野口緑
【研究組織（利用する者の範囲）】
大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター　研究責任者 大山飛鳥
利用又は提供を開始する予定日：2024 年 8 月

【個人情報の保護と倫理的配慮について】

本研究では、高知県より各市町村国保の特定健診結果（2009 年度以降の個人の受診結果を紐づけたもの）や追加問診の食習慣に関する食事調査結果、KDB 突合データによる健診、レセプトデータ関連データ等の提供を受けて研究を実施します。

これらのデータはすべて、データ提供元から、匿名化され、データ開示にはパスワードを要するロック状態でデータが提供されます。すべての対象者には研究用 ID が付与され、個人情報（氏名、国民健康保険被保険者番号等）が特定できないデータに加工したのち、特殊 配送で大阪大学に送付されます。この匿名化された情報は大阪大学において厳重に管理さ れ、本研究以外の目的に使用されることはありません。

大阪大学において実施された研究結果は、高知県に還元するとともに、集団全体の分析結果として公表します。個人の結果が公表されることはありません。また、住民の皆さまが不利益を受けたり、危険性が生じたりする可能性はありません。

ご自身が分析の対象となることを希望されない方がおられましたら、ご本人またはその代理人の求めに応じて、データ提供元に連絡し、分析から除外するなどの対応ができますので、下記へお問い合わせ下さい。

【本研究に関する問い合わせ先】

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学
電話番号：06‐6879‐3911
メールアドレス：mkyomu@pbhel.med.osaka-u.ac.jp